

Shimane Architecture Competition



平成24年度

# しまね 建築・住宅 コンクール

島根県

魅力あるしまねの暮らしを目指して





## ごあいさつ

島根県知事 溝口善兵衛

近年、島根におきましては、人口の減少と高齢化への対策や地域コミュニティの維持・再生、災害に強く、環境に優しい街づくりなどの課題があります。住宅や建物にも、バリアフリー化や空き家の活用、耐震、省エネ性能の向上などが求められています。

この「しまね建築・住宅コンクール」は、県民や事業者の皆様から募集した優良な住宅・建物の整備や活動の事例から、特に優れたものをモデル事例として広く紹介するため平成19年度に開始し、今回が6回目となります。

今年度は、これまでで最多の118件もの応募をいただきました。ご応募いただきました皆様に、厚くお礼を申し上げます。

ご応募いただきました事例につきましては、審査委員会において、現地審査を含めて慎重な審議を重ね、最優秀賞の「コクバンの家」をはじめ、建築物9件、活動1件の合計10件を表彰することとなりました。

受賞されました皆様に心からお祝いを申し上げます。また、大変難しい審査を行っていただきました審査委員の皆様にお礼を申し上げます。

今回の表彰が、県民の皆様の豊かな住まいや建物づくりと魅力ある地域づくりの参考となれば幸いです。

県では、住生活の安定と向上を図るため、平成24年3月に「第2次島根県住生活基本計画」を策定しました。これに基づき、今後も様々な施策を進めて参りますので、県民の皆様の一層のご理解・ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

平成25年2月

# 選考総評

審査委員長 熊谷 昌彦

平成24年度のテーマは「魅力あるしまねの暮らしを目指して一快適で豊か、安心で安全な生活の実現のために―」とし、建築物部門と活動部門の2部門に分けてテーマに即した建築行為、住生活に関連する活動を募集しました。

今年度の応募件数は118件で、建築物部門115件、活動部門は3件と大変多くの応募がありました。

審査にあたり、住宅・建築物の幅広い内容の新築・改修事例と活動があり応募物件毎に優れた工夫が見受けられることから、各賞の選考については慎重に行い、第1次審査で建築物部門を応募書類、写真をもとに23件、活動部門3件を選出し、第2次審査にて現場視察等を行い表彰候補10件を選定しました。

今回は最優秀賞1件、優秀賞3件、奨励賞6件を選定しました。最優秀賞の「コクバンの家」は、郊外の田園地域の住宅で、昭和初期にたてられた家の空間構成を生かしながら居住者の要求にあわせてリニューアルしたものです。内と外そして内と内の空間は互いにつながっており、コクバンは居住者や来訪者のコミュニケーションを媒介しています。今後のスローライフの暮らしの建築モデルを示していました。

優秀賞は、「空に向う家」、「O邸」、「坂の下café morikame」の3件の建築を選定しました。3件とも建築主のニーズに応えながら、新たな可能性を提案している点を評価しました。

奨励賞は、建築物部門から「先人の技術を受け継ぐ家」、「漆喰の家」、「『一畑電車大社前駅』の新しいかたち」、「そらうみの家」、「潮騒の住処」の5件、活動部門から「避難所運営体験の実践」の1件を選定しました。いずれも県内で今後のモデルとなり波及効果を期待できる建築物や活動が、受賞に至る結果となりました。

今回表彰された建築物や活動が、様々な場所で今後のモデルとなり、県内の良質な住環境整備の推進につながっていくことを審査員一同期待しています。

平成25年2月

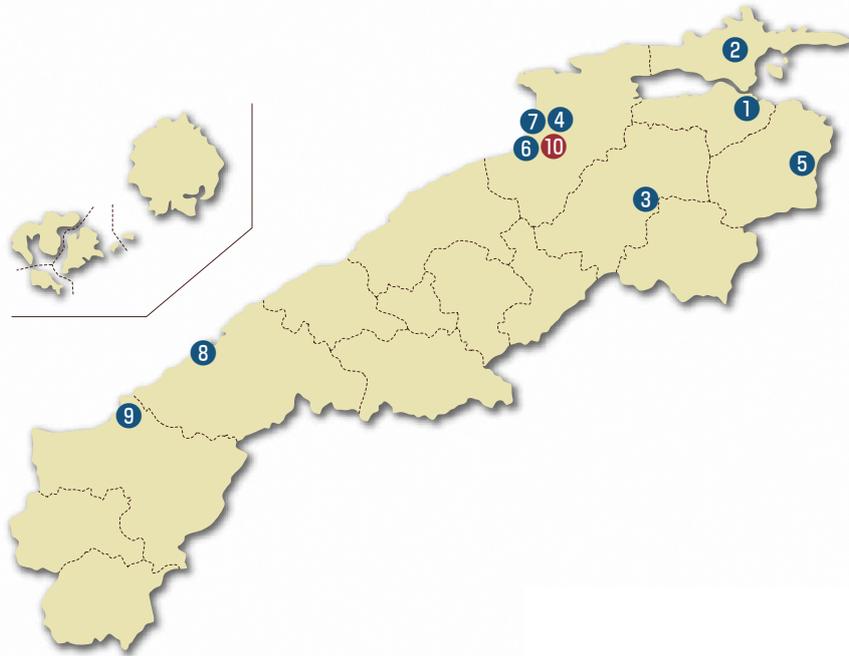
平成24年度

# しまね建築・住宅コンクール

テーマ

『魅力あるしまねの暮らしを目指して  
—快適で豊か、安心で安全な生活の実現のために—』

受賞物件

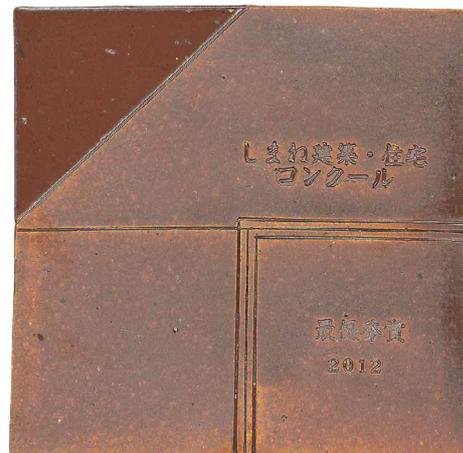


## 【建築物部門】

- ① コクバンの家  
松江市八幡町
- ② 空に向う家  
松江市奥谷町
- ③ O邸  
雲南市木次町
- ④ 新しい出発  
「坂の下café morikame」  
出雲市大社町
- ⑤ 先人の技術を受け継ぐ家  
安来市伯太町
- ⑥ 漆喰の家  
出雲市知井宮町
- ⑦ 『一畑電車大社前駅』の新しいかたち  
出雲市大社町
- ⑧ そらうみの家  
浜田市長浜町
- ⑨ 潮騒の住処  
益田市津田町

## 【活動部門】

- ⑩ 避難所運営体験の実践  
出雲市大津町

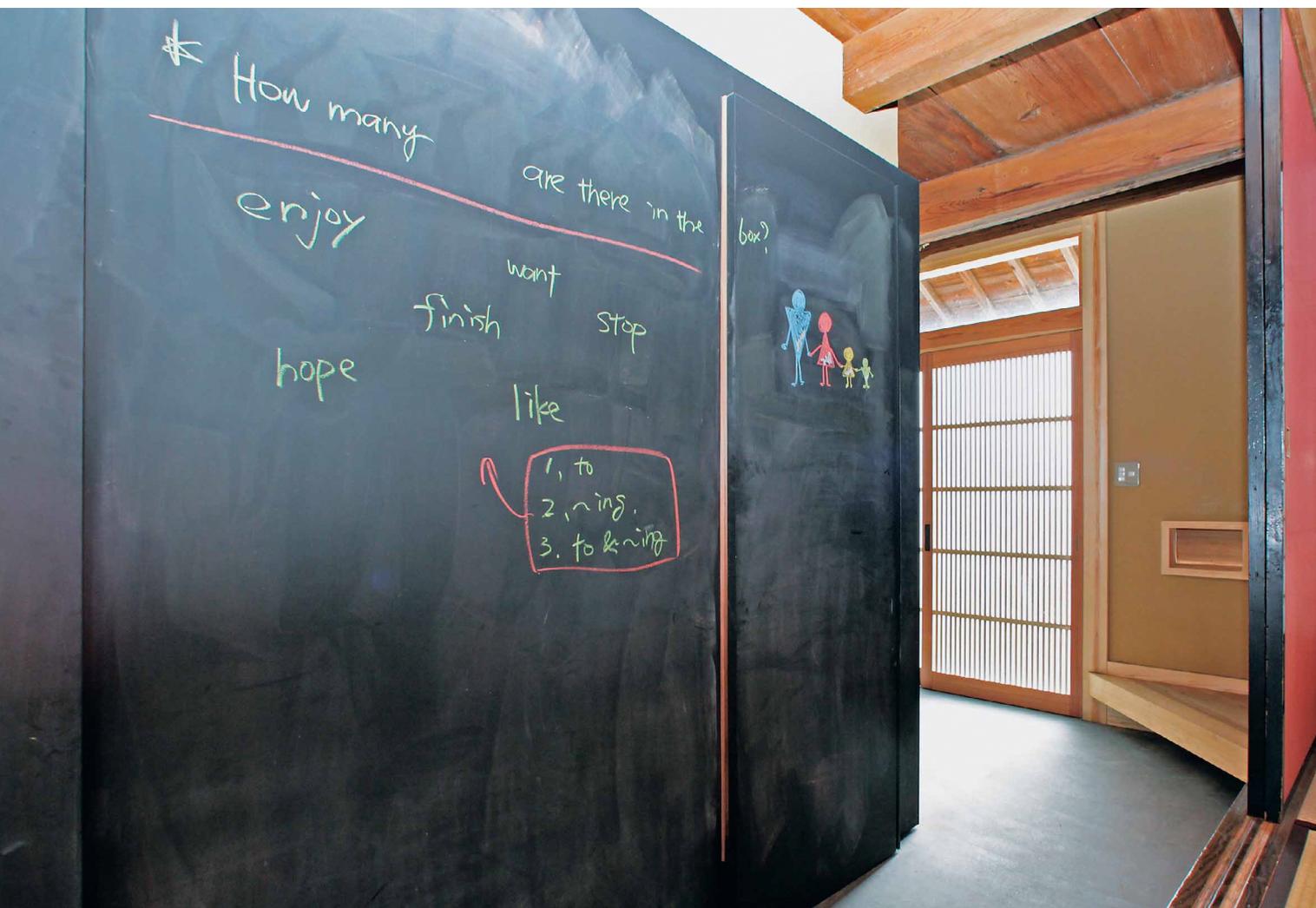


表彰銘板（石州敷瓦）

最優秀賞

# コクバンの家

## 玄関土間のコクバンが様々なメッセージを刻む家



魅力あるしまねの暮らしのテーマは、風土について何らかのこたえを建築・住宅の空間に求めています。日々の何気ない暮らしは、風土を絶えず秩序化あるいは再秩序化する様々な営みと考えます。旧来の住宅のリニューアルは、暮らしの再秩序化にほかなりません。

「コクバンの家」は、昭和初期に建てられた松江市郊外の田園にたたずむ空き家のリニューアルです。ご家族は、多少の不便さを受け入れ、家族や仲間、地域の人達とつながる暮らしを望まれました。土間を、人を招くダイニングキッチンとし、その土間にコクバンを設けました。コクバンは英語塾での活用や家族のメッセージボードの役目を果たしています。1階は、個室を設けず和室の続き間となり、家族室や塾そしてヨガ教室となり、夏はエアコンのいらぬ風通しのよい空間をつくりだしています。2階は、仕事部屋と寝室が設けられています。そして、採光・排熱用の天窗と風通し窓を設けて、小屋裏をあらわにした開放的な空間のしつらえがしてあります。

高度経済成長期、郊外地は、田園風景をこわして、モダンな生活スタイルをめざした新興住宅地になってしまい、地域の場所性を失ってしまいました。住宅は、機能的であり、ひとつの活動に空間が対応し、プライバシーを守るため、個室の組み合わせのプランになりがちでした。施主は個人のプライベートより、家族や仲間、地域の人達との暮らしを大切にされ、家族のメッセージボードにコクバンをおいています。

旧来の農家住宅は、地域の材料を使用してつくられ、土間があり、夏向きで広さもゆったりしていますが、冬は寒そうです。そこには、仕事と家族の生活が一体となって住まった暮らしが想像されます。家と周辺の田園はつながっており、外部と内部、そして内部相互のつながりをもった空間があります。その空間構成を生かしながら、現在の居住者の要求に柔軟に対応した、スローライフの生活空間の方向性を示しています。

(熊谷昌彦)



所在地：松江市八幡町  
建築主：個人  
設計者：一級建築士事務所 江角アトリ工  
施工者：株式会社内藤組

**建物概要**

用途：専用住宅／構造：木造／階数：2  
延べ面積：134.67㎡／工事種別：改修



優秀賞

軒下が豊かさを取り込む街なかの小住宅

# 空に向う家



松江城を中心とした旧市街地の北の外れの古くからある敷地に建つ住宅です。昔からある町並みを壊すことなく自然と周りにうまく溶け込んでいます。

外壁にはガルバリウム鋼板、漆喰、板貼りを使ったシンプルな箱型のこの住まいは、東西に対しては閉ざされていますが、山陰ならではの雨が多い気候を考慮した『軒下』という空間を、南北に繋がる玄関ポーチ・テラスやバルコニーに設けたことで、解放感あふれる豊かな半屋外空間を生み出しています。

北側の玄関を入るとそのまま南側テラスへ繋がる通り土間や、2階リビングのデッキから今にも手の届きそうな隣地の緑など、外と中とが自然に一体となる空間が作られています。

また、東西を住宅に挟まれた敷地ですが、南側正面に見える隣地の石垣と生け垣を借景に利用して、プライバシーの確保もうまく出来ています。

玄関ホールからまっすぐに2階へと伸びる階段を上ると、リビングの南側の壁面に設けた大開口いっぱい空が広がります。この大開口を通してリビングには緑と空と光があふれ、しばらく時間を忘れてゆっくりしたくなる暖かな空間となっています。

(川井香織)



所在地：松江市奥谷町

建築主：個人

設計者：スタジオ・カナ 一級建築士事務所

施工者：相互建設株式会社

**建物概要**

用途：専用住宅／構造：木造／階数：2

延べ面積：79.52㎡／工事種別：新築

優秀賞

# 邸

## 新旧の空間対比が生み出す新しい次元



所在地：雲南市木次町

建築主：個人

設計者：株式会社 TEAM STUDIO ARCHITECTS

施工者：株式会社安積

### 建物概要

用途：専用住宅／構造：木造／階数：2

延べ面積：154.45㎡／工事種別：増改築

工事内容：既存住宅の一部を改装・改築

旧邸の一部改修と、桜並木土手の通りに面した車庫と旧邸の間に建てられた新築の住宅である。

まず、新築された住宅であるが、階段状になった外観がモダンであり、内部にその形状がうまく活かされていることに感心する。住宅は、都心の新しい生活スタイルを思わせるごとく洗練され、スキップ状の部屋の構成は光と各部屋を繋げるしつらえが、腰壁の無いパー（鋼管）の手すりですべて一体感を持たせている。例えて言えば、公共のある種建築物の設計ではタブーと考えられることが、いとも軽快に表現できている。

また、旧邸の改修部分は未改修の部分と一変し、中庭とそれに面する既存の茶室を活かして、落ち着いた雰囲気が象徴的である。

二世帯が繋がりながら旧と新が互いに面白く表現されている。（矢野敏明）

優秀賞

# 新しい出発「坂の下café morikame」

## 150年の記憶をつなぐリニューアル



明治・大正・昭和、平成と生き続けた建物が、「坂の下森亀旅館」、「紅屋菓子店」とかわり、180年の月日を経て「坂の下 café morikame」とリニューアルされました。

出雲大社に近い場所であるため、昔のままの状態を残すことが考えられました。しかし、老朽化等で崩壊に近い状態でしたので、基礎の耐震化・筋交いや補強金物を施し、従来の骨太で丈夫な姿でありながら安らぎを与える空間をよみがえらせることができました。空間的には、旅館客室部分を取りはらいカフェのしつらえにあわせ、玄関まわりの天井をとって梁をあらわにして、豪壮な空間を自然にみることができるよう工夫しています。

時代の変化とともに建物の使われ方が変化し、用途変更がおこるのは建物が生き続けるための必然です。その建物の空間は、最初の建物そして修復した建物の残像をのこしながら、次世代に各時代の暮らしの記憶の断片を残しながら受け継がれていきます。

様々な用途変更を経て老朽化した建物を、リニューアルして新しい機能を付加して再生する仕事は、地域の活性化につながると共に、伝統的な意匠の保持と新しい機能とのバランスが求められます。各時代の生活空間の姿を世代をこえてつなげるリニューアルの試みは、門前の街並み形成の一里塚であることを示しており、今後さらに展開することが期待されます。（熊谷昌彦）



所在地：出雲市大社町  
 建築主：株式会社坂之下森亀  
 設計者：有限会社江角建築事務所  
 施工者：ヒロシ株式会社

### 建物概要

用途：店舗／構造：木造／階数：1  
 延べ面積：122.31㎡  
 工事種別：改修  
 工事内容：減築、大規模修繕

奨励賞

# 先人の技術を受け継ぐ家

古くからのものを大切にしたい  
こだわりの家づくり



所在地：安来市伯太町

建築主：個人

設計者：有限会社吾郷建築

施工者：有限会社吾郷建築

## 建物概要

用途：専用住宅／構造：木造／階数：2

延べ面積：116.70㎡／工事種別：改修

工事内容：既存住宅の一部を改装

古くからの町並みが残る、伯太町母里の中心を貫く旧道に面した民家である。昭和初期に建設された母家は、往時の豊かで、かつ選び抜かれた素材によって質の高い民家となっており、その一部を改修されたものである。

建築主の、古くからの町並みや素材を残していきたいという思いと、その家に合った古くからの技術を使って、家を再生させたいという職人の思いが生んだ作品である。

今回、多くの新築あるいは改修の建物が、設計事務所から、または工務店の設計担当者から応募された。それらの作品の中にあって、この建物は大工さんが職人として自らの経験を生かしながら、その感性で工夫されている。

それゆえ、独特の細工や古く見せる工夫が施されている。オーバーな部分もあるが、この古い民家にはむしろそれが似合っているようにも思える。

いずれにしても、各地域を支える大工さんが参考とされるに足りる作品である。

(矢野敏明)

奨励賞

## 漆喰の家

風土に抗わない作りに現代的手法を取り入れた住まい



出雲市郊外の田園地帯にある開発宅地内に建つ住宅です。引き戸で仕切られた家族の気配を伝えるワンルームの暮らし、通風と採光を得る陽当たりの良い縁側、木材、瓦、石など県産材の利用。これらは自然に寄り添う日本人が培ってきた風土に抗わない住まいの型であり、ここに現代的な手法が加えられた住宅となっています。

1階には施主が希望した広いLDKがあり、このLDKの吹抜けと、広い階段によって2階まで一体のワンルームの空間となっています。どこにいてもまだ幼い子供達の気配を感じられるので安心して家事ができる、と奥様は満足されていました。また、1、2階とも吹抜けと杉の八角大黒柱を中心として回遊性をもった平面となっています。1階はスムーズな家事動線が導かれ、吹抜けを囲む2階は、小さな潜り戸や小上がりを抜けながら繋がる、行き止まりのない楽しい空間となっています。

構造材、造作材全てに県産の杉材を使用しており、トイレ、納戸の間仕切りは、杉の厚さ30mmの自立間仕切壁とするなど、杉の活用の幅が広がっています。家の中どこにいても、木のぬくもりや優しさを堪能できるつくりです。

子供達はかくれんぼをしたり、元気よく駆けまわったり、十二分に新しい家を楽しんでいるようでした。新しいおうちが大好き、とおしえてくれた子供たちの笑顔から、住人の満足度がうかがえます。(谷口智美)



所在地：出雲市知井宮町

建築主：個人

設計者：一級建築士事務所 江角アトリ工

施工者：有限会社高橋工務店

## 建物概要

用途：専用住宅／構造：木造／階数：2

延べ面積：142.97㎡／工事種別：新築

奨励賞

# 『一畑電車大社前駅』の新しいかたち 駅舎の景色と一体化する「主張しないパブリックなスペース」



所在地：出雲市大社町  
建築主：一畑電車株式会社  
設計者：小池浩和建築事務所  
施工者：一畑工業株式会社

## 建物概要

- 駅舎 構造：RC造／階数：1  
延べ面積：251.00㎡／工事種別：改修  
工事内容：保存修繕、一部用途変更
- レストラン 構造：鉄骨造／階数：1  
延べ面積：115.40㎡／工事種別：新築

60年ぶりとなる出雲大社の平成の大遷宮に合わせて、神門通りの周辺では様々な整備が実施されています。その通り沿いに建つ『一畑電車大社前駅』は、昭和初期の建設以来80年以上の間、大社町の玄関口として住民や観光客に親しまれてきましたが、このたび復元改修され、レストランを併設する新しい空間として整備されました。

登録文化財である既存の駅舎は、ドーム型天井にあるステンドグラスから柔らかな光が差し込み、建設当時の切符売り場や照明器具などもそのまま残されています。建具も建設当初からの木製を使用し、かつての改修で塞がれていた部分から見つけ出した当時の色で塗り直しています。

屋外の待合スペースは、外観はそのままに、カウンター越しに電車の発着が楽しめる喫茶コーナーへと生まれ変わりました。

その横に新設されたレストランは、内外からの視線を遮らないよう外壁にガラスを多用することによって、存在感を消すという設計者の意図どおりに、主役である駅舎の名脇役として控えています。

同時期に市によって整備された隣接する公園の計画もよく考慮されていて、建具を全て開け放てば一体的に利用することができます。駅舎～レストラン～公園と人であふれ、活気ある駅として大切に使い続けられることを願っています。  
(川井香織)

奨励賞

# そらうみの家

## 景観、気候に配慮した通り抜け土間のある家



浜田市の港を望む高台にある住宅団地内に建つ住宅です。海からの強い潮風を受けとめる石州瓦の片流れ屋根と、塩害や紫外線にも強い漆喰の白壁が、シンプルながら凛とした印象を持つ外観です。

開口を抑えた玄関を開けると、通り土間が設けられていて、正面にある天井までの大開口からは空と山と海の自然豊かな色が目に飛び込んできます。古くから、内とも外ともつかない曖昧さをもつ空間として用いられてきた土間は、ここでも玄関であり庭でもあるような、外と内の中間的な場所として存在しています。また、高齢の住人に配慮し、土間の上に架けられた廊下は、立寄った人と気軽に腰かけて話せる縁側のようなコミュニケーションの場としても利用できるでしょう。

内装は白を基調としており、天井や床、建具、現わしの構造材などの木の表情が映えるつくりとなっています。全体的にはシンプルですっきりとした印象ですが、随所にそう見せるための様々な工夫がなされていて、それを丁寧に実現する施工の手間がうかがえます。

航海士だった住人が、四季それぞれの表情を魅せる海の景色と海風を楽しみながらゆったりと暮らせる、木のぬくもりを楽しめる「しまねの木の家」です。  
(谷口智美)



所在地：浜田市長浜町  
 建築主：個人  
 設計者：大野康宏建築設計  
 施工者：有限会社フジタ建設

### 建物概要

用途：専用住宅／構造：木造／階数：1  
 延べ面積：108.85㎡／工事種別：新築

奨励賞

# すみか 潮騒の住処

## 潮風を考慮した来待瓦の大屋根の家



所在地：益田市津田町

建築主：個人

設計者：有限会社万設計

施工者：大畑建設株式会社

### 建物概要

用途：専用住宅／構造：木造／階数：2

延べ面積：108.98㎡／工事種別：新築

益田市内の海岸沿いで赤瓦の家並みが続く集落に建つ住宅です。その集落の景色を壊す事のない様に、すっぽりと来待瓦の三色乱葺きの大屋根を載せ、夏や冬の日照と、冬場の過酷な潮風に対して抵抗できるように配慮されていて、地域に溶けこんでいます。

アプローチは、杉の羽目板張りの外壁に一部を白く塗りで仕上げ、すっきりと構えた正面の一階部分の端部を削ぎ落とした形で構えて通り土間風に設えてあり、木格子の目隠しで、冬場の北からの潮風を和らげる効果を生んでいます。

ポーチ天井は、わずかに反りがあり、土間から照らすピンポイントの照明をたよって、安全で豊かに、雰囲気のある玄関へと導かれていきます。

開放感あふれる内部は、地元産の高津川流域の木をふんだんに使った大屋根の架構の現しとしていて、力強さと美しさを感じさせます。1階リビング、ダイニングを吹き抜けにして、2階との一体的な繋がりを生んでいます。

リビングから眺める和室は、小上がりの段差を意図的に設えてあり、特製の障子を建てつけるなどして、狭小ながらも落ちついた造りです。

照明やフリースペース、フリールームなどで細かな配慮がされ、全体として豊かな空間を造り出していて建築主の満足度が伝わる作品です。

(佐々木巧)

奨励賞

# 避難所運営体験の実践

## 避難所運営模擬体験ゲーム「HUG (ハグ)」の取り組み



大地震が発生した場合、家屋の倒壊や津波、火災、山やがけの崩れなどにより、被災した多くの人々が避難所での生活を強いられることがあります。

静岡県が開発した避難所運営模擬体験ゲームの「HUG」は、H (避難所) U (運営) G (ゲーム) の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味で、避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けられました。

避難所の運営をしなければならない状況になったとき、殺到して避難してくる人々や様々な出来事にどう対応すれば良いのかが問題になります。年齢や性別、国籍など様々な事情が書かれたカードを、体育館などの避難所に見立てた平面図上にどれだけ適切に配置して、様々な出来事にどう対応していくかという内容です。

出雲市男女共同参画まちづくりネットワーク会議では、市と共にこのゲームを通して避難所運営の際に何が必要か、何を考慮しなければならないかを考え、体験する場を創りだす活動をされています。

避難所運営の模擬体験者が、ゲーム後に反省点、改良点を見出すことは、実に有意義です。この活動が益々広がることによって、男女共同参画の視点だけでなく、災害時の行政との連携や、自助・共助の重要性の認識を深められていくことが期待出来ます。  
(佐々木巧)



主な活動場所：出雲市

活動実施主体：出雲市男女共同参画まちづくりネットワーク会議

## テーマ・応募物件

## 『魅力あるしまねの暮らしを目指して』

— 快適で豊か、安心で安全な生活の実現のために —

- 募集テーマに即した建築行為、住生活に関連する活動であること
- 島根県内において、平成24年9月28日までに実施されたものであること
- 自薦・他薦を問わず、個人・団体・企業・自治体、どなたでも応募可能

なお、部門は以下のとおりです。

## 建築物部門

概ね5年以内に建築（新築、増築、改築または移転）し、修繕し、または模様替えした建築物（建築物の一部またはその敷地を含む）であって、募集テーマに即して、以下のいずれかに該当するもの

- 建築主、利用者などへの配慮がなされているもの
- 創意、工夫が見られるもの
- 地域特性を活かしたもの
- 既存建築物を活用したもの
- 今後のモデルとして、波及効果が期待できるもの
- その他の先進的事例

## 例えば

- 地域のコミュニティ形成や活性化を目的とした廃校舎等の改修
- 耐震、バリアフリー改修工事を実施し、耐用年数を延ばした事例
- 工法、工事期間等を検討し、工事費用を抑えた事例
- 設備のメンテナンス等を軽減した事例
- 地域に増加する空き家を再生した事例
- 県産木材や石州瓦などを効果的に使用した事例
- 長期優良住宅や防犯性能の向上に積極的に取り組んだ事例
- ランニングコストを抑える工夫をした事例
- 建築主への健康に配慮し、材料や建材を取り替えた事例

など

## 活動部門

募集テーマに即した住生活に関連する取り組み、活動であって、以下のいずれかに該当するもの

- 創意、工夫が見られるもの
- 地域特性を活かしたもの
- 他者への意識啓発に寄与しているもの
- 積極的、継続的に取り組まれているもの
- 今後のモデルとして、波及効果が期待できるもの
- その他の先進的事例

## 例えば

- 継続して行われている定住に向けた空き家の調査や活用の支援活動
- 高齢者世帯への地域での居住支援活動
- 使われなくなった学校、店舗等を活用して行われているまちの活性化活動

など

# 審査経過・審査委員

## 審査経過

### 募集結果

募集期間 平成24年7月10日～9月28日  
応募総数 118件  
【建築物部門】115件（新築88件、リフォーム27件）  
【活動部門】3件

### 審査経過

第1次審査 応募書類、写真をもとに第2次審査の対象となる26件を選出  
審査期間 平成24年10月11日～10月17日  
選出件数 26件  
【建築物部門】23件（新築15件、リフォーム8件）  
【活動部門】3件

第2次審査 選出された26件について第2次審査を実施し、表彰候補10件を選定  
現地審査 平成24年11月13日～12月7日  
最終審査会 平成24年12月18日  
選定件数 10件  
【建築物部門】9件（新築6件、リフォーム3件）  
【活動部門】1件

### 表彰式

開催日 平成25年2月19日  
授与式 受賞物件の建築主又は活動実施主体、設計者及び施工者に対して賞状を、建築主及び活動実施主体には、副賞として表彰銘板（石州敷瓦）を贈呈

## 審査委員

審査委員長 熊谷 昌彦〔国立米子工業高等専門学校建築学科教授〕  
審査委員 川井 香織〔(社)島根県建築士会 女性委員会委員長〕  
佐々木 巧〔浜田市建設部建築住宅課長〕  
谷口 智美〔島根職業能力開発短期大学校講師〕  
矢野 敏明〔(社)島根県建築士事務所協会会長〕

# 第2次審査対象物件一覧

部門	名称	所在地
建築物部門	古民家再生～玉湯の家～	松江市玉湯町
	house-a (狭小敷地に建つローコスト住宅)	松江市南田町
	優秀賞 空に向う家	松江市奥谷町
	最優秀賞 コクバンの家	松江市八幡町
	掘端の住まい	松江市母衣町
	(株)エブリプラン社屋	松江市北陵町
	奨励賞 先人の技術を受け継ぐ家	安来市伯太町
	奥出雲空き家活用定住住宅	奥出雲町上三所
	優秀賞 O邸	雲南市木次町
	ECO・カーステーションK	雲南市大東町
	S邸改修工事	雲南市大東町
	シスルビー1	出雲市姫原
	古民家再生 (リフォーム工事)	出雲市大社町
	奨励賞 漆喰の家	出雲市知井宮町
	優秀賞 新しい出発「坂の下café morikame」	出雲市大社町
	松園 別館	出雲市斐川町
	出雲大社神門通りポケットパーク 縁結びスクエア	出雲市大社町
	奨励賞 『一畑電車大社前駅』の新しいかたち	出雲市大社町
	神門通りおもてなしステーション	出雲市大社町
	奨励賞 そらうみの家	浜田市長浜町
	「想いを継ぐ家」(O邸)	浜田市三隅町
	知的障がい者グループホーム等の建築事業 施設名 (ひだまりふっくら)	浜田市新町
	奨励賞 潮騒の住処	益田市津田町
活動部門	中山間地域活性化事業《昔獲った杵柄》交流事業 定住対策促進事業《島根良い所探しの旅》婚活事業	雲南市大東町
	奨励賞 避難所運営体験の実践	出雲市
	常德寺本堂建替工事 自力調達による地域材利用とその環境啓発活動	松江市佐草町

平成24年度

# しまね建築・住宅コンクール

[主催] 島根県

[後援]

島根県建築行政推進協会・(社)島根県建築士会・(社)島根県建設業協会・(社)島根県建築組合連合会  
(社)島根県宅地建物取引業協会・(社)島根県建築士事務所協会・(財)島根県建築住宅センター・(社)島根県建築技術協会  
(社)島根県住まいづくり協会・(社)島根県管工事協会・(社)島根県電気工業協会

平成25年2月発行

島根県土木部建築住宅課